

事前評価チェックシート

計画の名称： 快適で安心な暮らしを支え、きれいな水環境を創造する下水道事業の推進（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1)上位計画等との整合性 下水道事業計画区域は、紀伊水道西部水域流域別下水道整備総合計画やとくしま汚水処理構想2011などに位置付けられており、本整備計画と整合がとれている。	○
I. 目標の妥当性 2)下水道法に定める認可との整合性 上記同様、下水道法に定める認可区域内での整備を行う計画となっており、整合がとれている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1)地域の課題を踏まえて目標を設定 未普及解消、水質改善といった各自治体の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1)整備計画の目標と定量的指標の整合性 整備計画の目標と指標が合致している。	○
II. 計画の効果・効率性 2)定量的指標の明瞭性 整備による効果を直接的に現すことができる指標となっている。	○
I. 目標の妥当性 事業の効果	
I. 目標の妥当性 1)事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 下水道事業の促進により、生活環境の改善や水質保全といった快適な水環境の創造が図れる。	○
III. 計画の実現可能性 事業執行の能力	
III. 計画の実現可能性 1)財政・執行能力等からみても計画期間で適正な区域となっている。 認可時に財政執行能力等を考慮した計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 2)下水道供用前後における接続促進に取り組んでいる。 地元説明や戸別訪問などで啓発に努めている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1)下水道事業計画の公表 認可時に告示・縦覧を行っている。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

2) 地元の意見聴取 上記認可時に意見聴取を行っている。また、都計認可時も同様である。

○